

第7回 吹田市政策会議開催結果について

日時:平成30年1月5日(金)9時00分～9時30分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員8名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、税務部長、会計管理者、消防長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
平成30年度(2018年度)当初予算について	行政経営部 税務部
○審議内容と結果	
【案件概要】 平成30年度(2018年度)当初予算編成の途中経過について報告するとともに、経常的な経費について各部局へ内示することの適否	
【所管部の考え方】 1 各部局への内示については、経常的な経費を対象に行う。 2 平成30年度(2018年度)当初予算の確定までの間に、政策的な経費や内示を保留している事業について精査するため、市長・副市長協議を行う。	
【審議事項】 平成30年度(2018年度)当初予算における収支不足額の対応策について	
【審議結果】 行政経営部企画財政室より、資料に基づき、審議事項について説明があり、その後質疑応答を行った。	
質問・・・平成30年度当初予算の歳出と歳入の詳細について説明せよ。 回答・・・現時点での平成30年度当初予算の歳出については、北大阪健康医療都市のまちづくり関連事業や、岸部中千里丘線道路新設事業・南吹田駅前線立体交差事業などの都市計画道路事業、小・中学校の校舎の大規模改造などの施設の更新事業などをはじめとする、普通建設事業の事業費が引き続き高い水準にあり、老朽化した建物の除却事業に着手することから、物件費が増加している。また、待機児童対策などによる補助費等の社会保障関係経費も増加しており、過去最大となった平成29年度をさらに上回る規模となっている。 歳入については、市税収入の増を見込んでいるが、国庫支出金の減などもあり、歳入全体で、対前年度比較で約35億円の減となっている。	
質問・・・歳出において、総務費の対前年度差が約7.4億円と高額になっているが、その理由はなにか。 回答・・・公有財産管理事業における旧北千里小学校除却費用と、スポーツ推進基金積立事業における基金の積立である。	
意見・・・平成30年度は固定資産税評価替えの年度であるが、近年の地価上昇の動向を考慮すると、本当に年間1%の上昇で収まるのかを再度精査する余地はある。また、今後、資産経営室を中心に施設の更新等を行っていく上で、ハード面のみが先送りになることが無いよう、予算を組み立てる際に、ハード面・ソフト面それぞれにどの程度一般財源を充てるのかを、目安としてルール化しておいた方がよい。また、企画財政室から所管に対して、市債発行等、歳入を考えた事業構築をする意識を植え付けるような発信をしてほしい。	
指示・・・各事業について、実施する意義・意味ごとに分けて整理をしてほしい。具体的には、市営住宅の除去費用等「負債の清算」、都市計画道路の整備や北大阪健康医療都市に関する事業等「将来への投資」に分け、その上で「短期」「中期」「長期」のどの時間的要素で構成するかを考え、平成30年度予算はそのどこに当てはまるかを整理するように。そうすれば、市民に向けて単に財政「状況」の報告でなく、財政「政策」の報告が出来ることになる。	
まとめ・・・本案件は承認された。手続きを進めること。	